

－ はじめに －

近年、少子化や核家族化、都市化、情報化等の社会経済の変化や、人間関係の希薄化、とりわけ地域における地縁的なつながりの希薄化などにより、地域社会や家庭における教育力が低下していることが、各所より指摘されています。

また、子どもが様々な人々と関わり、他者と共同し、未来を切り拓いていける力を一層育てていくため、社会全体で子どもを育てる気運を高めるとともに、教育や子どもの育ちに対する経験や知識を次の世代へ伝えていくことの大切さも求められています。

そうした中、滋賀県では、平成 26 年 3 月に「第 2 期滋賀県教育振興基本計画」を策定し、今後 5 年間に実施する重点取組として、社会全体で学校や子どもの活動を支援する取組や地域とともにある学校づくりを推進することとしています。

これまでからも、学校・家庭・地域が連携協力し、地域全体で子どもの育ちを支えるという視点のもと、地域住民等の参画による、「学校支援地域本部」、「放課後子ども教室」、「家庭教育支援」といった各事業につきまして、三つの事業を一つの枠組みとして有機的に組み合わせながら、それぞれの事業の拡大および活性化に取り組んでまいりました。

また、今年度からは、地域の多様な経験や技能を持つ人材・企業等の協力により、土曜日に体系的・継続的なプログラムを計画・実施する取組を支援し、教育支援体制の構築を図ることにより、子どもたちにとってより豊かで有意義な土曜日を実現するという観点から「土曜日の教育支援活動」にも新たに取り組んでおります。

本事例報告集は、こうした各事業における、各市町での工夫や努力による様々な取組について取りまとめ、報告させていただくものです。是非、御高覧いただきまして、既にこれらの事業を推進していただいている市町においては、新たな視点も持ちながら事業の更なる充実に向けて、引き続き取り組んでいただければと思います。また、これから更に学校・家庭・地域の連携体制を構築していこうとする市町におかれましては、本事例報告集も参考の上、お進めいただければ幸いです。

最後になりましたが、本事業を含め、「社会全体で子どもの育ちを支える環境づくり」に、平素より実際に子どもたちと関わっていただき、地域において献身的なお取組をいただきました関係の皆様にご心より感謝申し上げますとともに、引き続きの御支援をお願いいたします。

また、本事例集の編集に際し、貴重な情報の提供や原稿をお寄せいただきました関係の皆様にご心より感謝申し上げます。

平成 27 年（2015 年） 3 月

滋賀県教育委員会事務局

生涯学習課長 山 崎 薫